

ささめがわ村

No  
165

令和3年7月

# みんなの言義会だより

題字：鮫川小学校  
6年 須藤 優空さん



6  
月  
定  
例  
会

## 新型コロナワクチン 接種業務など可決!

- 一般質問に5議員登壇 …… 5~10
- 村民の広場 …… 11
- ふるさと鮫川への想い …… 12

# 接種体制強化 補正案を可決

6月  
定例会



関根 政雄 村長

## 6月定例会の あらまし

6月定例会が6月9日から11日までの3日間の会期で開催されました。  
第1日目に、一般質問を行い5名の議員が登壇し、閉校を迎える修明高校鮫川校の今後の活用や処分方法、新型コロナウイルスワクチン接種体制や国保診療所医師不在による今後の対応策など、さらに、中心地活性化策や災害復旧（元年災）進捗状況など様々な問題を取り上げ、村政を質しました。  
次に、報告3件の後、専決処分の承認について

て（鮫川村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例）外8件の説明があり承認可決されました。また、令和3年度補正予算等8件の提案理由の説明がありました。  
第2日目に、総務文教常任委員会と産業厚生常任委員会を開き、議案を審議しました。  
最終日に、審議した条例、補正予算等を含む8件を原案どおり可決しました。

### 主な専決処分

▼鮫川村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例

に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例

▼鮫川村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

国の基準省令の改正に伴い、村条例において関連する条項の所要の改正を行うもの。

▼鮫川村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例

▼鮫川村介護保険法に基づく指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等

▼新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルスワクチン接種に係る業務に従事した医師、看護師に対する特殊勤務手当について規定するもの。業務に従事した1時間につき、医師2万円、看護師6千円とするもの。

# 新型コロナウイルス 981万円の

令和3年度  
補正予算

## 6月補正予算の状況

会計別		補正額	補正後の予算額
一般会計		3634万7千円増	27億5159万4千円
特別会計	国保 事業勘定	442万円増	4億2479万2千円
	国保 直診勘定	0	6632万2千円
	簡易水道事業	302万1千円増	1億5723万1千円
	村営バス事業	0	1110万円
	学校給食センター	295万6千円減	9739万1千円
合計		4083万2千円増	35億843万円



## 6月補正予算の主な事業(一般会計)

歳入	
新型コロナウイルスワクチン接種対策費	981万8千円追加
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	459万7千円追加
イノシシ等有害捕獲促進事業費	115万6千円追加
村有地貸付料	912万1千円追加
地域振興費寄附金	340万円追加

歳出	
積立金 公有施設整備基金	912万2千円追加
積立金 ふるさとづくり基金	200万円追加
認定こども園備品購入事業	110万円追加
子育て世帯生活支援特別給付金	235万円追加
新型コロナウイルスワクチン接種業務	981万9千円追加
イノシシ等被害防止備品購入事業	142万9千円追加
道路改良工事事業	560万円追加

報告がありました

▼線越明許費線越計算書について

過年度農業施設災害復旧事業ほか17事業。

▼事故線越し線越計算書について

農地災害復旧事業ほか4事業。

▼白河地方土地開発公社の経営状況について

村が出資している白河地方土地開発公社の令和2事業年度の経営状況について、議会に説明資料が提出されたもの。

▼条例の一部を改正しました

▼鮫川村奨学基金設置条例の一部を改正する条例

奨学基金に寄附があったため、基金の額等、所要の改正を行うため、条例の一部を改正するもの。

▼白河地方広域市町村圏整備組合規約の変更について

情報通信ネットワークの共同運用システムのクラウド化に伴い、所要の改正をするもの。また、組合庁舎の活用計画に基づき、現庁舎を消防専用庁舎とすることから組合の事務所を移転しようとするもの。

# 議案 調査

# 提出議案を 徹底調査!



両常任委員会による合同議案調査

**新型コロナウイルスワクチン接種業務に  
981万円**  
令和3年度一般会計及び特別会計補正予算  
を、総務文教・産業厚生両常任委員会にて議案  
調査しました。

**問** 子育て世帯生活支援  
特別給付金  
235万円

**答** 子育て世帯支援の給付金

**問** イノシシ等被害防止  
設備142万円

**答** 国のモデル事業補助金

**問** 道路改良工事  
560万円

**答** 青少年広場線その他

**問** 生活基盤施設耐震化  
等交付金事業費  
122万円

**答** 県の交付金増額の為

## 産業厚生 常任委員会

**問** 新型コロナウイルスワクチン  
接種業務981万円

**答** 医師への接種委託料

**問** 公有施設整備基金  
912万円

**答** 施設更新の為の積立

**問** ふるさとづくり基金  
200万円

**答** 寄付金の積立

**問** 医療給付費現年課税分  
△244万円

**答** 基準となる所得確定に  
よるもの

**問** 備品購入費  
110万円

**答** こどもセンターで使用  
する紫外線殺菌庫

## 総務文教 常任委員会

**問** 土地貸付収入912万円

**答** 賃借料

**問** 青生野地区太陽光発電事業の  
賃借料

**答** 青生野地区太陽光発電事業の  
賃借料



接種が本格化した新型コロナワクチン



簡易水道が整備された寅卯平



舗装が補修される青少年広場線

# 議員5人が登壇ズバリ!! 村政を問う!

P 6



**森 隆之**

- 施設利活用と処分

P 9



**遠藤 貴人**

- ワクチン接種のデメリット
- 発熱検査センターの実績


P 7



**関根 浩治**

- 畜産農家への貸付制度
- 国保診療所の対応策

P10



**前田 武久**

- 災害復旧の進捗状況
- 道路改良の見通し
- 簡易水道の整備計画

P 8



**宗田 雅之**

- 中心地の活性化策
- 危機管理と住民サービス


一般質問は、議員の日常活動を通じて、住民の声や自身の考え方をもとに、村長、教育長などの方針を問うものです。鮫川村議会は、一人あたり90分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

**出席議員**

**議事の進行**



**星 一彌 議長**



**北條 利雄 議員**



**前田 雅秀 議員**



**関根 英也 議員**



**堀川 照夫 議員**



森 隆之 議員

問

再利用計画がない施設財産は処分を

答

今後、再利用計画がない  
施設財産は取得しない



修明高校鮫川校の校舎

**再質問**  
建物等の対応は、今までの村の経緯を見ると事前に活用の方向性を決めずに、物を残してから使いたい人を募集するという形が多かったと思う。利用方法や使い方の計画を立てたうえで、村民の皆様が賛同していただければ残しても良いと思

**再質問**  
建物等の対応は、今までの村の経緯を見ると事前に活用の方向性を決めずに、物を残してから使いたい人を募集してという形が多かったと思う。利用方法や使い方の計画を立てたうえで、村民の皆様が賛同していただければ残しても良いと思

**再質問**  
平地が少ないということで土地は再利用するということだが、建物は再利用するのか、それとも解体するのか。  
**答弁(村長)**  
廃校利用の再利用の方向については、まだ決めかねている。最終的に体育館、校舎の解体費用は本村から持ち出せる財政状況ではない。解体するのならば、県の費用と考えている。敷地をどのように有効活用するのかというのは、これから将来的な学校教育関係や様々な施設活用の計画にそって検討する。

**再質問**  
平地が少ないということで土地は再利用するということだが、建物は再利用するのか、それとも解体するのか。  
**答弁(村長)**  
廃校利用の再利用の方向については、まだ決めかねている。最終的に体育館、校舎の解体費用は本村から持ち出せる財政状況ではない。解体するのならば、県の費用と考えている。敷地をどのように有効活用するのかというのは、これから将来的な学校教育関係や様々な施設活用の計画にそって検討する。

**再質問**  
今後、施設等を残すのであれば、事前に使用目的や計画を決めて行い、使用計画がなければ思い切って解体等の財産処分をすること

**再質問**  
今後、施設等を残すのであれば、事前に使用目的や計画を決めて行い、使用計画がなければ思い切って解体等の財産処分をすること

**再質問**  
今後、施設等を残すのであれば、事前に使用目的や計画を決めて行い、使用計画がなければ思い切って解体等の財産処分をすること

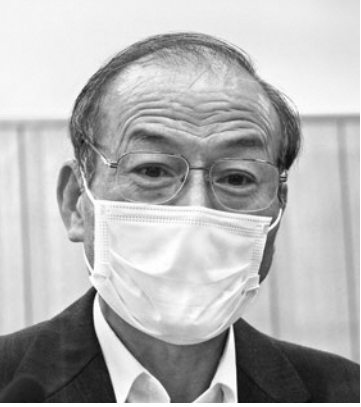
**再質問**  
今後、施設等を残すのであれば、事前に使用目的や計画を決めて行い、使用計画がなければ思い切って解体等の財産処分をすること

**再質問**  
今後、施設等を残すのであれば、事前に使用目的や計画を決めて行い、使用計画がなければ思い切って解体等の財産処分をすること



整備された鮫川校のグラウンドからの景色

**答弁(村長)**  
どの事業も見切り発車はやらない。きちんと協議をした上で、10年、50年という先を見ながらの計画を立てて、思い切った勇断、取り壊すということも視野に入れて、村民や議員各位、学識経験者、区長、教育関係者の意見も聞きながら検討していく。鮫川校の件に関しては、再利用計画を決める前から県より譲りいただくという、そういう逆の方法は取る気は無いので、約束できると思う。



関根 浩治 議員

## 問 村有牛貸付実態と今後の優良牛貸付方法拡大検討を問う

## 答 畜産農家の状況を鑑み検討する

### 質問

村では、村有牛の貸付制度があり、貸付された農家は優良な子牛の販売代金により返済する等、高齢者の生きがい対策、畜産農家への貸付制度の実態と基金残額について問う。

### 答弁(村長)

現在の貸付頭数は2頭で、貸付金額は100万円、基金残額は551万8611円。

### 再質問

過去5年間の貸付実態について問う。

### 答弁(村長)

近年の畜産農家への利用者募集案内はしておらず、現在の貸付件数は2件のみで、今年度7月31日までの利用者募集案内回覧をして募集中。

### 再質問

全国的に、優良牛の価格高騰により、50万円の貸付金額では安いので条例を改正して増

額の検討を問う。

### 答弁(村長)

畜産農家の状況を鑑み様々な角度から今後検討する。

## 問 国保診療所の医師不在に伴う今後の対応策を問う

## 答 常勤医師確保に向けて関係機関へ要請中

### 質問

国保診療所での患者数と今後の対応策と、

コロナワクチン接種についてを問う。

### 答弁(村長)

現在の投薬患者数は1ヶ月250名程で、診療所での診察をふるどのクリニックの医師の協力で週1回木曜日午後診察を実施しているが、医師の負担軽減のために、1日も早い常勤医師確保を関係機関へ要請中。

### 再質問

コロナワクチン接種の状況について問う。

### 答弁(村長)

高齢者の75歳以上の接種は毎週土曜日で5月29日から接種開始で、2回目の最終接種完了は、7月31日。また65歳以上74歳以下の方は、6月14日から開始し、2回目の最終接種完了は7月28日で高齢者への7月中接種完了予定。

### 再質問

ワクチン確保状況について問う。

### 答弁(村長)

6月6日に最終のワクチンが到着して、高齢者への2回分確保している。

### 再質問

ワクチンが確保されて、医師不在での接種実施となり村民は大変心配をしている。不安解消のために、情報開示が大切で防災無線等で、村民へ情報開示が大切と思われる配慮をお願いしたい。また、常勤医師不在での学校医について問う。

### 答弁(村長)

学校医による年度内の検診は、ふるどのクリニックの医師と契約している。

### 再質問

診療所医師確保と再開通しについて問う。

### 答弁(村長)

早い時期に開設出来るよう、鋭意努力する。



新型コロナワクチン接種状況



宗田 雅之 議員

## 問 中心市街地の活性化対策を問う

## 答 中長期の総合計画が必要



早期対応が必要な建物

### 質問

中心地の活性化策は、協議会を立ち上げ、アドバイザーの協力、助言のもと検討をかさねてきた経緯もある。また「地域再生計画」が国の認定を受け進めてきたが、突然中止された。何故計画を頓挫したのか伺う。中心地の衰退は村の衰退に繋がる。一日も早い施策と対応が望まれる中、村長の考える活性化策も併せて伺う。

### 答弁(村長)

職員の横断的連携と住民参加の活性化協議会を開催し、活性化に関わる拠点整備計画を

策定してきた。また村民対象のアンケートの中で、「手・まめ・館」への経営改善、人材育成、中心地活性化拠点整備計画の見直しなどの意見

が多数あり、特に、行政指導のもとに協議、検討された活性化計画は、道の駅建設ありきで推進すべきではないとの意見も数多くあった。これらの意見を尊重し、次世代に大きな負担を残すべきではないとの判断で、新しい敷地への移転事業を見合わせることにした。今後は加工所などの既存施設、館山公園と児童公園との併設なども考慮して連携が取れるような中長期的な計画が必要と考える。

### 再質問

「手・まめ・館」の総合計画の進捗状況は。

### 答弁(村長)

経営コンサルタントは箱物よりも、経営改善策を立てられる能力のある責任者が必要との意見もあり、現状、経

営改善と人材育成による、接遇、経営理念、意識改革に向け努力している。

### 再質問

館山周辺の空き家、特に改修出来ない建物も多く見られるが、対応は。

### 答弁(村長)

地権者の承諾を得ながら対応していきたい。

### 問 危機管理と住民サービスについて

### 答 情報提供を得ながら進めていく

### 質問

コロナウイルス感染が拡散する中、感染予防とワクチン接種は住民の命に関わる大きな問題であり、関心も高い。接種に関しての早急な情報の開示・提供・気配りのある体制づくりも重要、現状を伺う。

### 答弁(村長)

早い情報開示・提供は

大切であるが、今般の医師不在の中、医師確保や日程調整をおこなっている状況下であったので、日程が確実となった段階で該当する方にお知らせしている。

### 再質問

ワクチン接種は一日でも早い方が良い。医師不足の中、当村出身の医師の協力要請があったが断った、何故なのか伺う。接種する方ばかりいてもスタッフがそろわないとの話も聞か、村にも多くの潜在看護師もいるし、介護施設のスタッフの中にもいる。

### 答弁(村長)

接種会場の状況を見て頂きたい。状況を鑑みると先生1人に看護士3人など10人以上でワンチームを構成することにスムーズに流れる。医師情報を提供してくれた方、今後お世話になるかもしれない医師の方々の皆さんには丁寧に御礼を申し上げていきたい。

### 再質問

接種会場は保健センターばかりでなくても、トレーニングセンターなどでもやる気になれば、2組での接種が出来る。村職員に横断的に協力して頂き土日曜日に接種するなど、一日でも早い対応が必要ではないか。また、一生懸命努力して医者になり村の為に協力したいと言う方の働く姿を見せるのも、子供達に夢と希望を与えるものであり、村が進めているキャリア教育ではないか。

### 答弁(村長)

現在のところ土曜日と週3日のワクチン接種ということで計画をしており、日曜日接種の考えはない。地域で頑張つて生業を見極めた方の話を子供達に聞かせる。当然実践でも学ばせる。まさにふるさとキャリア教育の一環である。是非お会いして、ワクチン接種の件の御礼を含めて、お話ししたいと考える。





遠藤 貴人 議員

## 問 感染率が低い子どもを 接種対象とするのか

## 答 国の定めた基準、 16歳以上の接種を進めたい

### 質問

待望されてきたワクチン接種が本格化し始めた。国保診療所に常駐していた医師の後任がいなかったため、緊急措置として古殿町の開業医が診療に当たっている。

予定していた1日180人の接種計画はどのように変更されているか。

また、国では7月末を念頭に希望する全ての高齢者に2回の接種

を終わらせるよう自治体をサポートしていく」と述べている。高齢者接種を完了させるためのワクチン供給をどのように見通しているか。

### 答弁(村長)

1日180人の計画をしていたが、現在は土曜日のみ4時間の接種で160人。75歳以上の接種を7月31日までに完了する見込み。さらに、郡山市在住の医師の協力によって、



埴厚生病院に設置されている検査センター

65歳以上への接種を、1日90人の予定で8日間実施。65歳以上の該当者も7月下旬の接種完了を見込んでいます。ワクチン供給の見通しですが、確保しているワクチンの数量は、人数にして2925人分。65歳以上の対象者1300人に2回接種したとしても、十分に対応できる。

### 再質問

接種が任意である以上、ワクチン接種した人と、接種しない人の間に差別が生まれてはならない。

### 答弁(村長)

偏見や差別を受けてはならない。注視をしながら、村民の動向を見守りたい。

### 再質問

「感染すると重症化する」「ワクチンを接種すれば感染しない」といった勘違いも多い。接種のデメリットが、十分に伝えられないまま事業が進められてい

ることは、問題があると感じている。

さらに、接種に伴う長期的なリスクが担保されているとは言えない中で、子どもに接種を開始すれば、多くの子どもは断れない状況に陥ってしまうのではないか。

若年世代は、感染しても軽症で回復しているのがほとんどであり、重症化するのは生活習慣病を抱えているごく一部に限られることが分かってきた。そのようなかで、感染率が非常に低い子どもを接種対象とする流れに、危機感を覚える。

### 答弁(村長)

本村の場合には国の定めた基準、16歳からの接種を進めていきたい。

16歳未満の青少年にワクチン接種をする計画は、今のところない。ワクチンが利く、利かないということ、住民に周知できる状況ではない。個人の判断になる。

### 問 地域外来・検査センターの実績は

感染が蔓延した場合、大きな役割を持つ

### 質問

一般外来と発熱症状のある患者を区別して診療する東白川地方地域外来・検査センターが設置されている。運用実績はどのようなになっているか。

### 答弁(村長)

現在までの運用実績は4件。東白川郡内は、陽性者の発生も少ない状況にあるが、感染が蔓延した場合には、地域外来・検査センターの役割は大きなものがあると考えている。



前田 武久 議員

## 問 元年災の竣工状況は

## 答 現在も未完成箇所あり



再々工期延長の災害現場

### 質問

災害復旧事業、度重なる工期延長により、ほとんどの工事が完成されたと思うが、その進捗状況を尋ねる。

### 答弁(村長)

公共土木災害復旧、令和3年度繰越7件のうち1件が竣工、6件が未完成。農地等災害復旧は3年度繰越した、

### 再質問

11件のうち4件が竣工7件が未完成となっている。早期完成に向けて鋭意取り組んでいく。

### 再質問

工期を厳守する業者、一方守らない業者に対する行政指導監督は、

### 答弁(村長)

最大工期延長12月25日の現場3件あり。繰

越議決後、工期延長業者には文書で警告を何度もしている。

### 再質問

3件の未着工は元年発注された事業と思いが。

### 答弁(村長)

元年度入札、未着工で2年度に繰越し、3月31日までに工事完了せず、令和3年度に繰越しとなった。

### 再質問

国、県の補助事業、契約条項に違反する行為が今後本村の予算獲得に影響すると思うが。

### 答弁(村長)

県からお叱りを受けている落合地区の工事、早く竣工させる。県に遅延の報告すれば差し支えない。

### 再質問

契約違反のペナルティは。

### 答弁(村長)

科せる条項がある。

唐露、葉貫線の改良見通しは

### 問

未改良1800メートル今後様々な角度から調査をする

### 質問

令和元年12月一般質問答弁にて、30年も砂利道の生活道を行政として対応するのが村長としての偽りのない心であると取り組む姿勢を示された。2年経過したが、調査検討がされてない。

### 答弁(村長)

まず、調査をし現状のまま待機所、側溝の整備をし、舗装を計画的に検討していきたい。

が条例で定める給水区域に入っているが。

### 答弁(村長)

広畑、官代、内ヶ竜の一部が含まれるが国庫補助対象事業費4割残り6割は自己財源で賄うことから、今後調査・検討を重ねる。

### 再質問

延伸事業は、村の計画であり途中変更住民の不信感のないよう要望を聞き、理解を得るべき。

### 答弁(村長)

延伸事業、自家用水支援策等安全な水の提供を検討する。

給水区未整備地区

### 問 厳しい財政事情

### 質問

村簡易水道の東石地区整備延伸について、東野地区整備延伸事業

# 村民の広場

～スポーツクラブの紹介～

## HSジュニア ベースボールクラブ

鮫川学童野球部は昨年から部員減少のため、埴町の学童野球部との合同チーム「HSジュニアベースボールクラブ」として部員16名で活動しています。

今年度は、全国スポーツ少年軟式野球交流大会で県南地区予選を勝ち抜き県大会に出場しました。県大会では、強豪チームを次々に撃破し福島県3位と健闘しました。学童野球部は、技術面だけではなく、精神面も成長していけるように活動しております。団員同士、町村の垣根を越えて、笑顔で明るく「楽しく」をモットーに日々練習に励んでいます。普段、平日の練習は青少年広場でおこなっていますので、興味のある方はぜひ見学にお越しください。男女問わず団員募集中です。



お問い合わせ先

- ・保護者代表  
中川西 吉栄
- ・連絡先  
090-7797-9308

ゆうきくん  
からの  
お願い

議会傍聴に  
来てくんちナイ!  
9月定例議会は  
9月中旬からの予定です。



### 村民の皆さまに「感謝」

県町村議会議長会の総会にて、平成27年から議会議長として村政発展に尽力した功績が認められ、星一彌議長が自治功労者表彰を受けた。

# ふるさと鮫川への想い シリーズ④



**関根 恒夫 さん**  
東京都在住 (西山字西野内出身)

## ◆プロフィール

生年月日 昭和29年2月24日  
昭和49年3月 東京都立大泉高校定時制卒業  
平成5年10月 有限会社ゴユー建販設立  
平成6年9月 有限会社ゴユー加工設立



## ふるさととは心のケア

私は50年前、東白川農商高等学校を中退して、叔父を頼って上京し、手伝いをしながら夜学に通い卒業しました。その後、建具職人をしていた叔父の影響で建築勉強をしたくなり、学校に行くための資金稼ぎに就職した会社で、建築資材に関わる会社でした。その会社社長さんが、高齢者になっても建具資材で職人さんが楽に仕上げられる物品開発に従事して、職人さんと連携し色々考案してきました。

その後、自分で販売したくなり、40年前に女房にも相談せず独立。自分の考案したものを中心に販売開始したが、販売事業の大変さが思い知らされた、苦い経験の思いがあります。

それから、毎年5月は鮫川へ、8月のお盆は、女房のふるさと岩手へ帰省。お墓参りをすること、リフレッシュ出来る

28年間頑張れたのかなと思います。ふるさとへは、ただ帰るだけなのに、それが、ふるさとなんです。また、近年は、いなかで甥や姪などと、ゴルフをする楽しみも出来有意義な帰省時間を過ごしております。

鮫川村の、人口も年々減ってきて大変残念に思いますが、心のケアが出来るようになるのは困りますが、微力ながら少しでもお手伝い出来ればと思っています。



今後は、息子に経営を譲り、好きなゴルフや温泉に浸かりながら、新しい事を始めたいと思います。

コロナ過の中ではありますが、お気をつけて皆さんご自愛ください。

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症が、全世界で猛威を振るい依然として収束する気配が感じられない。本村では、高齢者へのワクチン接種が進み、7月中の終了予定で実施されている。65歳以下の村民への接種計画も進行中で、ワクチン接種が完了すると、感染リスクが少なくなり早い収束を願うばかりで、平常生活を取り戻したいものです。

(広報編集委員)